平成27年度 財政状況資料集

終括表(市町村)

								指定団体等	の指定状況	<u> </u>	区分	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	区分		平成27年度(千円・%)	
	都道府県名	石川	川県	市町	村類型	IV -	- 1			歳入総額		11, 197, 193		実質収支比率		0. 5	(
								財政健全化等	×	歳出総額	4	11, 015, 039		経常収支比率		77.8	8
	+ m-++ 4		- De ma		/ L T3/ T36 1-L	0	0	財源超過	×	歳入歳出		182, 154	319, 983	(%1)		(82. 0)	(87
	市町村名	中部	登町	地方父*	付税種地	2-	-2	首都 近畿	×	_	操越すべき財源	144, 690 37, 464		標準財政規模		7, 110, 610 0. 31	6, 822, 0
		27年国調(人)	17, 571					近 職 中部	× 0	実質収支 単年度収3	+	5, 220	32, 244 2, 617	財政力指数 公債費負担比率		0. 31 21. 6	2
	人口	27年国調(人)	18, 535	-	ztr.	業構造 (※5)		過疎	×	□ 単年及収2 積立金	Z.	5, 220 585, 508	2, 617 5, 170			21.0	
	χL	増減率 (%)	-5. 2	1	/19	未得足 (水切		山振	0	繰上償還:	≙	354, 597	554, 080	実質赤字比率		_	
		28. 01. 01 (人)	18, 717	×	≅分	22年国調	17年国調	低開発	0	積立金取		-	318, 180	連結実質赤字比率		_	
		うち日本人(人				436		指数表選定	0	実質単年		945, 325	243, 687	実質公債費比率		11. 7	1
往日	基本台帳人口	27.01.01(人)	18, 965	第	11次	5. 0	6.8							将来負担比率		73. 2	8
EL	(※7)	うち日本人(人	人) 18, 788			3, 189	3, 773			基準財政	以入額	1, 654, 416	1, 571, 976	資金不足比率 (※4)			
		増減率 (%)	-1.3	第	52次	36. 5	39. 1			基準財政	需要額	5, 484, 696	5, 064, 323				
		うち日本人(9	%) -1.3	Anter	r0.16	5, 119	5, 218			標準税収	入額等	2, 056, 773	1, 982, 207				
	面積(km)		89. 45	弗	[3次	58. 5	54. 0			経常経費:	充当一般財源等	5, 644, 123	5, 658, 233				
人口	密度(人/k㎡)		196							歳入一般	 財源等	8, 076, 840	8, 123, 719				
t	帯数(世帯)		6, 055														
				職員	の状況												
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均								
			給料月額(百円)	般			(人)	(百円)	給料月額(百円	地力與枕	··-	15, 699, 389	16, 368, 654				
	市区町村長	1	7, 900	職員	一般職員		214	574, 162	2, 68			8, 324, 060	8, 243, 934				
Dil	副市区町村長	1	6, 200 5, 600	等		斯職員 	10	22, 410	2, 24	_	行為額 (支出予定額) 	230, 229	285, 229				
職	教育長	1	3, 200	·*	教育公務	技能労務職員	10	22, 410	2, 24	_	以入 基金現在高	157, 290	157, 238				
	議会議長議会副議長	1	2, 760	- 6	教育公別 臨時職員			_		- 工地開発:	財政調整基金	6, 482, 861	5, 880, 353				
	議会議員	12	2, 760	- ~	合計		214	574, 162	2, 68	積立金	減債基金	10, 675	10, 673				
	DE A DE A	12	2,000	-	ラスパイレ	ノス 指数	214	074, 102	89.	現仕局	その他特定目的基金	1, 875, 972	1, 901, 660				
						11111111					(., ,	.,,,,,,,				
一般的 項番	計等の一覧 き	会計名	事業 項番	会計の一	覧	会計名		公営企業 (法適) 項番	の一覧 会計名		公営企業(法非適)の一! 項番 会	覧 ≩計名	関係する一部事務組 項番		也方公社・第3 頁番	三セクター等一覧 団体名	(*
(1)	一般会計		(3)	国民健康	後保険特別 :	会計		(6) 水道事業会	†		(7) 下水道事業特別会計		(9) 石川県市町村	肖防団員等公務災害補償等組合			
(2)	ケーブルテレビ事業特	持別会計	(4)	介護保険	(特別会計						(8) 分讓宅地造成事業特別	削会計	(10) 長曽川水防事程	 8組合			
			(5)	後期高齢	令者医療特別	引会計							(11) 石川県市町村町	战員退職手当組合			
													(12) 石川県市町村	肖防賞じゅつ金組合			
													(13) 石川県市町議会	★議員公務災害補償等組合			
													(14) 石川北部アール	レ・ディ・エフ広域処理組合			
													(15) 石川県後期高額	令者医療広域連合			

⁽注釈)※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

^{)※1:}接常収支比率の()内の数値は、「濃収精増積(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。 ※6:個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。 ※7:住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の						地方税の物				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分		収入済額	構成比	超過	果税分
地方税	1, 674, 286	15. 0	1, 674, 286		普通税		1, 674, 286	100.0		16, 048
地方譲与税	102, 654	0.9	102, 654	1.5	法定普通税		1, 674, 286	100.0		16, 048
利子割交付金	3, 832	0.0	3, 832	0. 1	市町村民税		751, 337	44. 9		16, 048
配当割交付金	8, 946	0.1	8, 946	0. 1	個人均等割		31, 102	1.9		-
株式等譲渡所得割交付金	9, 378	0.1	9, 378	0. 1	所得割		623, 767	37. 3		-
地方消費税交付金	333, 780	3.0	333, 780	4. 8	法人均等割		44, 101	2. 6		7, 503
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割		52, 367	3. 1		8, 545
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税		789, 415	47. 1		_
自動車取得税交付金	24, 653	0. 2	24, 653	0.4	うち純固定資産税		789, 391	47. 1		-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税		40, 681	2. 4		-
地方特例交付金	7, 376	0. 1	7, 376	0. 1	市町村たばこ税		92, 853	5. 5		-
地方交付税	5, 263, 063	47.0	4, 683, 035	68. 0	鉱産税		-	-		-
普通交付税	4, 683, 035	41.8	4, 683, 035	68. 0	特別土地保有税		-	-		-
特別交付税	580, 028	5. 2	-	-	法定外普通税		-	-		-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	目的税		-	-		-
(一般財源計)	7, 427, 968	66.3	6, 847, 940	99. 5	法定目的税		-	-		-
交通安全対策特別交付金	2, 271	0.0	2, 271	0.0	入湯税		-	-		-
分担金・負担金	39, 973	0.4	2, 540	0.0	事業所税		-	-		-
使用料	295, 280	2. 6	1, 329	0.0	都市計画税		-	-		-
手数料	38, 104	0.3	210	0.0	水利地益税等		-	-		-
国庫支出金	1, 047, 343	9.4	-	-	法定外目的税		-	-		-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税		-	-		-
都道府県支出金	850, 451	7. 6	-	-	合計		1, 674, 286	100.0		16, 048
財産収入	16, 372	0. 1	2, 597	0.0						-
寄附金	14, 596	0.1	-	-	区分		平成27年度		平成26	年度
繰入金	71, 320	0.6	-	-	後収率 現 合計		99. 0	91. 9	98. 6	90. 5
繰越金	302, 983	2.7	-	-	徴収率 現・計 市町村 (%) 年・計	民税	99. 4	96. 9	99. 2	96. 0
諸収入	149, 630	1.3	25, 377	0.4	純固定	資産税	98. 6	86. 7	97. 9	84. 6
地方債	940, 902	8. 4	-	-			•			
うち減収補塡債(特例分)	-	-	-	-	公営事業等への)繰出	国民健康	東保険事業	会計の状況	兄
うち臨時財政対策債	370, 802	3. 3	-	-	合計	1, 660, 529	実質収支			9, 073
歳入合計	11, 197, 193	100.0	6, 882, 264	100.0	下水道	838, 601	再差引収支			-1, 152

公営事業等/	への繰出	国民健康保険事業会計の状況						
合計	1, 660, 529	実質収支	9, 073					
下水道	838, 601	再差引収支	-1, 152					
上水道	6, 368	加入世帯数(世帯)	2, 574					
工業用水道	-	被保険者数(人)	4, 276					
交通	_	被保険者 「保険税(料)収入額	99					
国民健康保険	170, 088	放体院名 国庫支出金 1人当り 日原ないま	106					
その他	645, 472	「人ヨリ 【保険給付費	349					

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

					色位 千円・%)			
				出の状況	(単位 千円・9			
	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普遍	通建設事業費	(A) のうちst	5.当一般財源等
議会	費	116,		1.1		_		116, 674
総務	費	1, 702,	690	15. 5		52, 888		1, 475, 392
民生		2, 638,		24. 0		31, 279		1, 592, 483
衛生		475,		4. 3				433, 155
労働			315	0. 1		_		6, 315
	N 定業費	589.		5. 4		133, 972		319, 441
商工		209,		1.9		22, 304		136, 387
土木		1, 854,		16.8		926, 437		993, 533
消防		304,		2. 8		55, 896		266, 656
教育:	費	1, 219,	203	11.1		522, 865		804, 383
災害	复旧費	144,	812	1.3		-		9, 422
公債	費	1, 753,	872	15. 9		-		1, 740, 845
諸支			_	_		_		–
	 度繰上充用金		_	_		_		_
歳出		11, 015,	กรด	100.0		1, 745, 641		7, 894, 686
房处 山山		11, 013,	003	100.0		1, 745, 041		7, 034, 000
		M+ 55	민도	出の状況	(単位 千円・9	۷١		
	EZ/		加枫				小 机叶连体	经类质于11.表
幸 7次,	区分	決算額	Λ11	構成比	充当一般財源		当一般財源等	経常収支比率
	的経費計	4, 245,		38. 5	3, 372, 91		2, 987, 176	41. 2
	件費	1, 435,		13. 0	1, 222, 41		1, 210, 015	16. 7
	うち職員給	953,		8. 7	748, 55		-	-
扶	助費	1, 055,	703	9.6	409, 64	9	390, 913	5. 4
公	責費	1, 753,	872	15. 9	1, 740, 84	5	1, 386, 248	19. 1
— :	元利償還金	1, 753,	872	15. 9	1, 740, 84	5	1, 386, 248	19. 1
内	うち元金	1, 610,	167	14. 6	1, 598, 15	2	1, 243, 555	17. 1
訳	うち利子	143.		1.3	142, 69		142, 693	2. 0
١	一時借入金利子	,	-			_	- 12,000	
その	也の経費	4, 879.	575	44. 3	4, 156, 35	a	2, 656, 947	36. 6
	件費	1, 361,		12. 4	1, 029, 10		887, 134	12. 2
	持補修費	68,		0.6	61, 83		61, 832	0.9
	助費等	1, 204,		10.9	980, 04		726, 860	10.0
	うち一部事務組合負担金		295	0.0	2, 29		2, 198	0.0
	出金	1, 654,	161	15.0	1, 504, 51		981, 121	13. 5
	立金	590,	318	5. 4	580, 86	6	-	-
投:	資・出資金・貸付金		-	-		-	-	-
前:	年度繰上充用金		-	-		-		
	的経費計	1, 890,	453	17. 2	365, 41	5		
	うち人件費	.,,	_	_	,	_		
	普通建設事業費	1. 745.	641	15. 8	355, 99	3		
	うち補助	990,		9. 0	42, 05			
内	うち単独	729.		6.6	310, 37			
訳.								
	災害復旧事業費	144,	812	1.3	9, 42	4		
	失業対策事業費					-		
歳出	台計	11, 015,	039	100.0	7, 894, 68	6		

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歲入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	11,138	10,956	182	37	71	15,699		
2 ケーブルテレビ事業特別会計	109	109		0				
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質
計一般会計等(純計)	11,197	11,015	182	37		15,699		

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	2,386	2,383	3	3	170				
2 介護保険特別会計	2,218	2,218		0	318				
3 後期高齢者医療特別会計	213	213		0	327				
4 水道事業会計	546	106	442	442	7	2,906	556		法適用企業
5 下水道事業特別会計	1,298	1,298		0	838	12,140	10,696		法非適用企業
6 分譲宅地造成事業特別会計	41	41		57					法非適用企業
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
# 公営企業会計等		/		502		15,046	11,252		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 石川県市町村消防団員等公務災害補償等組合	163	160	3	3				
2 長曽川水防事務組合	0	0	0	0				
3 石川県市町村職員退職手当組合	4,944	4,496	448	448				
4 石川県市町村消防賞じゅつ金組合	5	1	4	4				
5 石川県市町議会議員公務災害補償等組合	1	1	0	0				
6 石川北部アール・ディ・エフ広域処理組合	1,624	1,541	83	83				
7 石川県後期高齢者医療広域連合	977	973	4	4				
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
+ 一部事務組合等	/		/	542	/			

(C)-(D)

(単年度)

(3ヵ年平均)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100 5,419,994

14.8

12.8

5,313,830

11.6

12.7

5,441,693

8.9

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 延味財産 平成27年度 石川県中能豊町

7						
7						
9						
9						
11						
12						
13						
14						
15						1
						1
16						-
17						
18		 				
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26		 				<u> </u>
27						
28						
29						
30						
31						-
						-
32						-
33						
32 33 34 35		 				
36						
37						
38						
						-
39 40						-
41						
42						
43						
44						
45 46						
						-
47						-
48						-
49						
50 51						
51						
52 53 54						L
53						
54						
55						
56						-
						-
57						
58						
59		 	 	 	 	
60						
61						
62						
63						
64						-
_						
65						
66						
67						
68						
69						
70						
71						
72						
_						-
73						-
74						
75						
76						
77						
78						
79						
_						
80						
81						
+		 				
82	+ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
H 地	方公社・第三セクター等			 	 	
# ## **:	地方公共団体が①25%以上出資している					
+ \ #				ている。		

Δ.	債費負担の状況	円・%)				将来負担の	71\ <i>1</i> 10				di	* 本 各 40 以 本	(千円・9	()				
												好来負担比率	(+H-9	•				
	区分	平成25年度		平成27年度	分母比		区分		平成25年度			分母比		内訳	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比
元	利償還金	1,588,875	1,422,961	1,399,275	25.7	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高		16,302,346	16,368,654	15,699,389	288.5	PFI事	業に係るもの	-	-	-	
减	債基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額		-	273	-	-	いわら	る五省協定等に係るもの	-	-	-	
淖	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額		10,866,975	11,347,998	11,252,867	206.8	国営ニ	:地改良事業に係るもの	-	-	-	
7	公営企業債の元利償還金口対する繰入金	663,017	756,775	765,242	14.1		組合等負担等見込額		-	-	-	-	債 森林紀	合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	
木作	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-		退職手当負担見込額		2,630,156	2,602,906	2,583,453	47.5	負地方位	、務員等共済組合に係るもの	-	-	-	
遏	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	812	540	272	0.0		設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	担依頼二	上地の買い戻しに係るもの	-	-	-	
슢	一時借入金の利子	-	-	-	-		連結実質赤字額		-	-	-	-	行	a祉法人の施設建設費に係るもの	-	273	-	
	合計 (A)	2,252,704	2,180,276	2,164,789			組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	損失补	#償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	
	内訳	平成25年度	平成26年度	平成27年度	分母比		合計	(E)	29,799,477	30,319,831	29,535,709		引き受	けた債務の履行に係るもの	-	-	-	
	PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能 財源等	充当可能基金		6,629,856	6,231,157	6,830,045	125.5	その他	上記に準ずるもの	-	-	-	
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	別源寺	充当可能特定歳入		150,196	106,984	107,594	2.0		下水道事業特別会計	10,820,194	10,847,342	10,696,098	196.
信	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額		19,606,507	19,478,869	18,609,341	342.0		水道事業会計	46,781	500,646	556,769	10.
彩	めますがある。 地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		슴計	(F)	26,386,559	25,817,010	25,546,980		企業債等 繰入見込額	介護保険特別会計	-	-	-	
) #	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	812	540	272	0.0	将来負担比	[率((E)-(F))/((C)-(D))×100		62.9	84.7	73.2		1987 170221	後期高齢者医療特別会計	-	-	-	
彳	量 損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-									その他の会計	-	-	-	
Ž.	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-									地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	侹	全化判断比率 平成27年度 5	早期健全	化基準 財政	女再生基準			公社・ 三セク等	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	
	利子補給に係るもの	-	-	-	-	実質	質赤字比率 -		14.01	20.00			_ = = > +	その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	
特	定財源の額 (B)	122,366	57,371	13,027		連約	吉実質赤字比率 -		19.01	30.00								
標	準財政規模 (C)	6,750,144	6,822,223	7,110,610		実質	質公債費比率 11.7		25.0	35.0								
算	入公債費等の額 (D)	1,330,150	1,508,393	1,668,917		将来	来 負担比率 73.2		350.0									
	(-) (-)		E 040 000	1														

(3)市町村財政比較分析表(普诵会計決算)

平成27年度

0.0

153.9

石川県中能登町

82.1



当該団体値 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

50.0

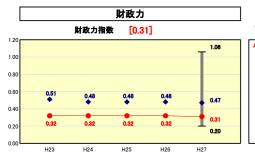
100.

150.0

200.0

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

- ※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
- ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
- ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



看似团体内槽位 石川県平均 31/39 0.50

少子高齢化による人口の減少、基幹産業である繊維産業の不振等により、自主財源で ある税収が少なく、財政基盤が弱いため、0.31と類似団体平均を大幅に下回っている。 平成17年3月1日の合併により中能登町となったが、今後は地域振興や教育の充実を図 り、活力あるまちづくりを展開し、行政の効率化に努め、財政の健全化を図っていく。



類似団体内順位 石川県平均

基金積立てにより、前年度比で将来負担比率が減少した。

退職者数に対する採用者数の抑制、保育園の指定管理者制度導入の検討を行い、適 正な定員管理に努める。

今後、統合庁舎に係る起債償還が控えていることから、繰り上げ償還の実施、資本費平 準化債の発行継続を積極的に行い、更なる財政の健全化に努める。



将来負担の状況

将来負担比率 [73.2%]

類似团体内層位

類似団体内順位

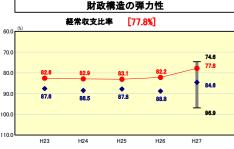
下水道事業特別会計への公債費充当繰出金を抑制するため、平成22年度から継続し ている資本費平準化債を発行し、また交付税措置率の高い地方債を選択してきたことに より、前年度数値から更に改善してきた。

石川県平均

石川県平均

今後、実質公債費比率の上昇を抑制するため、繰上償還の実施及び新規事業の実施 については緊急度・優先度に基づく取捨選択を厳に行う。

全国平均



類似団体内順位 石川県平均

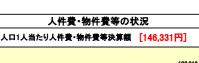
経常収支比率の分析的

人件費の抑制、公債費の補償金免除繰り上げ償還等の実施により、経常的経費の縮減 が図られ、H23年度比で4.8ポイント改善されている。今後も適正な定員管理の実施、事 務事業の優先度、必要性、事業効果の再点検、公債費の繰上げ償還等を積極的に進 め、経常的経費の削減に努める。



人口千人当たり職員数の分析

徐々に、類似団体平均に近づいてはいるが、依然合併の影響により職員数は多い。退 職者数に対する採用者数の抑制、保育園の指定管理者制度導入の検討を行い、適正 な定員管理に努める。

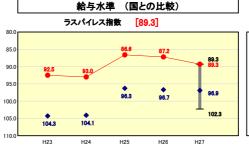




類似団体内順位 石川県平均 121,920 114,527

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析は

人件費では、退職者数に対する採用者数の抑制により、徐々に経費縮減されている。し かし、依然として合併による類似施設管理のための人件費、物件費が発生しており、小・ 中学校、図書館、上・下水道施設の統廃合の検討及び推進、保育園等の指定管理者制 度導入の検討を積極的に進め、合併による財政効果を更に引き出せるように努める。



類似団体内順位 全国町村平均

ラスパイレス指数の分析機

類似団体中、最低水準であり、今後も一層の給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成27年度

石川県中能登町

経常収支比率の分析

H23

H23

2.0

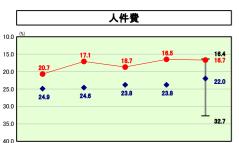
6.0

10.0 12.0 H24

H24



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



H25

扶助費

H26

H26

H27

3.3

11.3

H27

類似団体内順位 全国平均 石川県平均 23.3

類似団体と比較すると、人件費に係る経常収支比率は低くなっている。要因 はラスパイレス指数が類似団体中最低であることが挙げられる。しかし、職員 数については合併により依然多く、今後も退職者数に対する採用者数の抑制 を行い、適正な定員管理に努めていく。

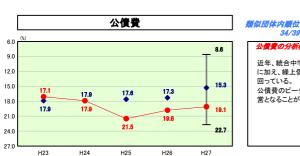
19.5

石川県平均

22.5



前年度と比べ0.1ポイント減少し、類似団体平均と同程度の数値となる。今 後、より一層の受益者負担の見直しにより扶助費の増加に歯止めをかけるよ う努める



H25

34/39

近年、統合中学校、道の駅、統合小学校等の大型整備事業が集中したこと に加え、繰上償還の実施により公債費については類似団体を3.8ポイント上

全国平均

17.4

公債費のピークは平成28年度になると見込まれ、今後数年は厳しい財政運 営となることが予想される。



類似団体内順位

全国平均

石川県平均 13.0

13.3

石川県平均

石川県平均

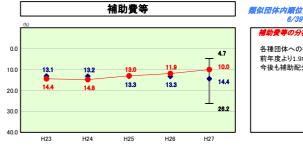
67.5

14.3

物件費の分析権

地域イントラネット整備事業費(H26完了)の減少に伴い、0.9ポイント増加して

今後、類似施設の統廃合を進め、物件費の抑制に努める。



各種団体への補助見直し推進及び同級他団体への事務委託費減少により、 前年度より1.9ポイントの減となっている。

今後も補助配分や基準の見直しを実施し、適正な管理に努める。

全国平均



その他の分析機

前年度に比べ1.0ポイント減少し、類似団体平均と同率となった。 各種経費の見直しを実施し、早期に健全化を達成するよう努める。 特に繰出金については特別会計への繰出金を抑制するため、各事業会計で の独立採算の原則に基づいた健全な運営により、普通会計への負担額を減 らしていくよう努める。

全国平均



2/30

前年度と比べ3.7ポイント減少し、類似団体平均を大きく下回っている。 今後も財政の弾力性の維持・改善を進め、人口減少対策事業による経常一 般財源の確保、経費削減に努める。

全国平均

72.6

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析 人口1人当たり決算額の推移 ● 当該団体値 (円) ◆ 類似団体内平均値 180,000 類似団体内の 159,038 160,000 最大値及び最小値 140,000 120,000 95,106 92,756 100,000 95,320 80.000

H23

H24

人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体决算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1, 435, 436	76, 692	77, 257	▲ 0.7
賃金(物件費)	141, 142	7, 541	7, 577	▲ 0.5
一部事務組合負担金(補助費等)	1, 197	64	12, 059	▲ 99. 5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	890	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	1
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	36, 206	1, 934	4, 205	▲ 54.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	-	-	1, 846	-
▲退職金	▲ 127, 127	▲ 6, 792	▲ 8, 513	▲ 20. 2
合計	1, 486, 854	79, 439	95, 320	▲ 16.7

参老

		当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000.	人当たり職員数(人)	11. 43	8. 93	2. 50
ラスパイレ	ス指数	89. 3	96. 9	▲ 7.6

(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。

H27

63,732

76,418

H26

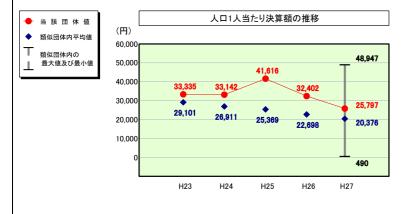
75,777

H25

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

60,000

40,000

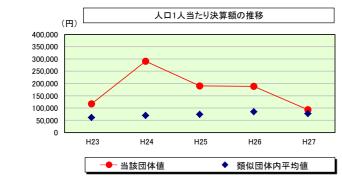


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1, 399, 275	74, 760	49, 286	51. 7
(麻工良速銀号を除く) 積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	6	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	765, 242	40, 885	18, 395	122. 3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	4, 784	=
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	272	15	901	▲ 98.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	6	1
▲特定財源の額	▲ 13, 027	▲ 696	▲ 3, 045	▲ 77. 1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	1 , 668, 917	▲ 89, 166	▲ 49, 958	78. 5
스타 	482, 845			26.6

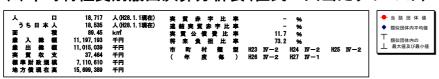
※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析

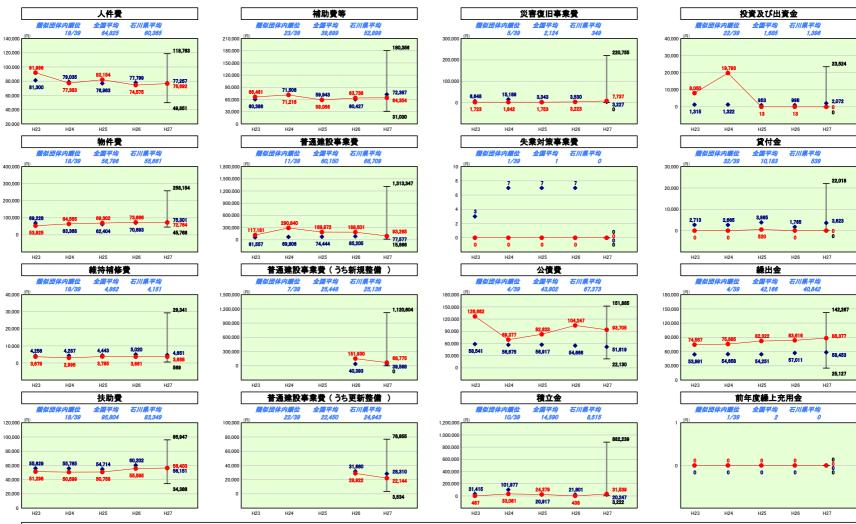


普通建設事業費

122127777		当該団体決算額	人口 1 人当たり決算額							
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)			
H23		2, 263, 472	117, 181		61, 557		133. 8			
[うち単独分	1, 075, 604	55, 685		32, 497		56. 6			
H24		5, 620, 475	290, 840		69, 806		134. 8			
	うち単独分	3, 162, 614	163, 654		32, 823					
H25		3, 652, 784	189, 972	▲ 34. 7	74, 444	6. 6	▲ 41.3			
	うち単独分	1, 422, 386	73, 975	▲ 54.8	34, 175		▲ 58.9			
H26		3, 574, 913	188, 501	▲ 0.8	85, 205	14. 5	▲ 15.3			
	うち単独分	1, 636, 657	86, 299	16. 7	38, 847		3. 0			
H27		1, 745, 641	93, 265	▲ 50. 5	77, 577	▲ 9.0	▲ 41.5			
	うち単独分	729, 039	38, 951		40, 870		▲ 60.1			
過去5年間平均		3, 371, 457	175, 952	36. 3	73, 718	2. 2	34. 1			
	うち単独分	1, 605, 260	83, 713	30. 1	35, 842	3. 4	26. 7			



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



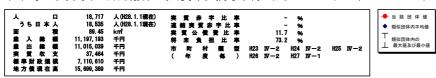
性質別蔵出の分析機

類似団体平均金額との乖離が大きい費目として、公債費と繰出金がある。

公債費については、繰上償還の実施及び自治体合併による建設事業への地方債充当により、増加基調にある。

繰出金については、高齢化による介護特別会計及び後期高齢者医療特別会計への繰出額の増加と、

設備の老朽化対策に多額の経費を要する下水道事業特別会計への繰出額が多額となっている。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別蔵出の分析機

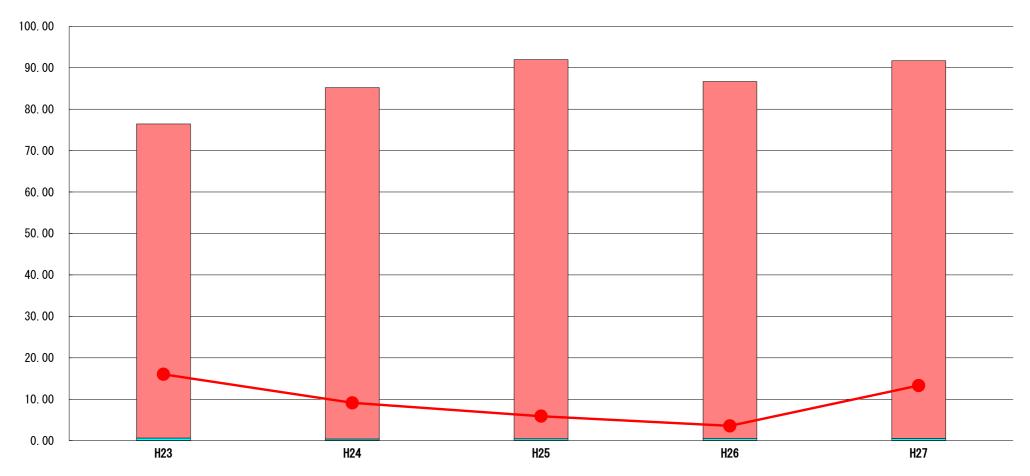
衛生費及び消防費については、近隣団体に事務委託を実施しているため、類似団体平均額を大きく下回っている。 教育費については、小学校統合事業にかかる本体工事が126に完了したため、前年度より大きく滅額している。 商工費については、地方創生加速化交付金による商工振興事業の増額により、前年度より大き代額している。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成27年度

石川県中能登町

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	H23	H24	H25	H26	H27
財政調整基金残高	75. 81	84. 79	91. 53	86. 19	91. 17
実質収支額	0. 62	0. 40	0. 44	0. 47	0. 53
一 実質単年度収支	16. 02	9. 12	5. 91	3. 57	13. 29

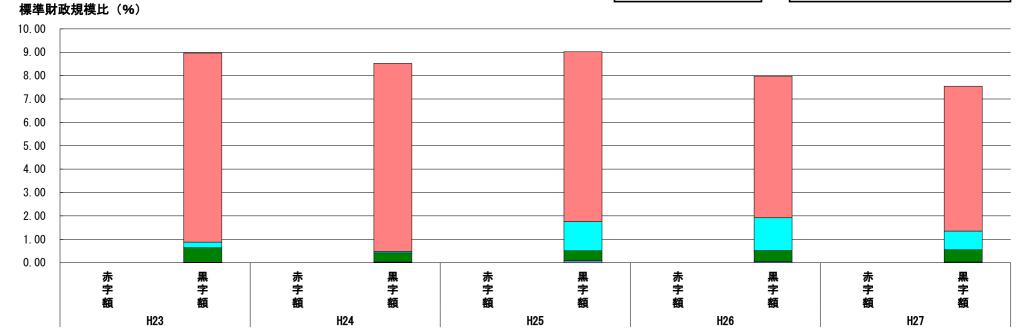
分析欄

国補正による国庫補助金並びにこれに付帯する補正予算債の起 債充当により、一般財源額が減少し、財政調整基金の積立てが 実施された。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成27年度

石川県中能登町



標準財政規模比(%)

年度 会計	H23	H24	H25	H26	H27
水道事業会計	8. 09	8. 05	7. 26	6. 06	6. 20
分譲宅地造成事業特別会計	0. 24	0. 06	1. 25	1. 40	0. 80
一般会計	0. 62	0. 39	0. 43	0. 47	0. 52
国民健康保険特別会計	0. 01	0. 02	0. 08	0. 05	0. 03
介護保険特別会計	0. 01	0. 01	0. 00	0.00	0. 00
下水道事業特別会計	0. 00	0.00	0. 00	0.00	0. 00
後期高齡者医療特別会計	0.00	0.00	0. 00	0.00	0. 00
ケーブルテレビ事業特別会計	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
その他会計(赤字)	-	-	-	-	-
その他会計(黒字)	-	-	-	-	_

分析欄

全会計で赤字額はなく、黒字額は標準財政規模比で8%前後を保っている。 分譲宅地造成事業特別会計については、H26より新規の分譲を開始、半数が売却されたこと から、H27には売れ行きが鈍化し、黒字額が減額している。

全体では、標準財政規模比が0.43ポイント減少している。

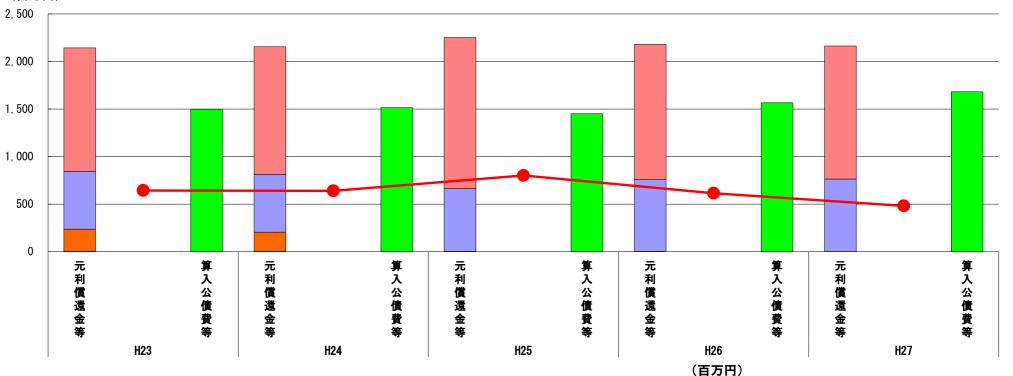
[※]平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成27年度

石川県中能登町

(百万円)



分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27	分
		元利償還金	1, 298	1, 341	1, 589	1, 423	1, 399	A L
		減債基金積立不足算定額	-	-	1	ı	-	
		満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	1	-	-	
元利償還金等(A)		公営企業債の元利償還金に対する繰入金	608	608	663	757	765	
		組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	236	205	1	-	-	
		債務負担行為に基づく支出額	1	1	1	1	0	
		一時借入金の利子	-	-	1	-	-	
算入公債費等(B)		算入公债費等	1, 499	1, 515	1, 452	1, 566	1, 682	
(A) - (B)	-	実質公債費比率の分子	644	640	801	615	482	

析欄

繰上償還を行ったことなどにより、元利償還金の金額が減少 し、元利償還金等の額が減少している。

[※]平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

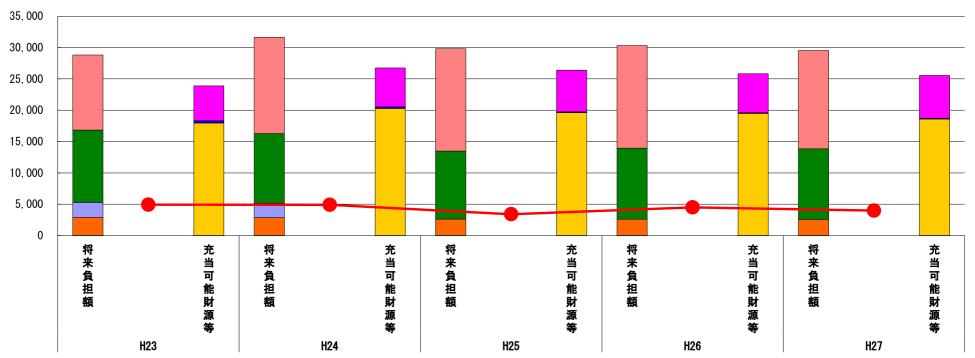
(10) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成27年度

(四万四)

石川県中能登町

(百万円)



							(日クロ)
分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
		一般会計等に係る地方債の現在高	11, 990	15, 379	16, 302	16, 369	15, 699
		債務負担行為に基づく支出予定額	-	1	1	0	-
		公営企業債等繰入見込額	11, 535	11, 142	10, 867	11, 348	11, 253
将来負担額(A)		組合等負担等見込額	2, 395	2, 280	I	-	-
付不負担領(A)		退職手当負担見込額	2, 904	2, 856	2, 630	2, 603	2, 583
		設立法人等の負債額等負担見込額	-	1	1	-	-
		連結実質赤字額	-	1	1	-	-
		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	1	1	-	-
		充当可能基金	5, 565	6, 209	6, 630	6, 231	6, 830
充当可能財源等(B)		充当可能特定歳入	362	255	150	107	108
		基準財政需要額算入見込額	17, 963	20, 277	19, 607	19, 479	18, 609
(A) - (B)	+	将来負担比率の分子	4, 933	4, 916	3, 413	4, 503	3, 989

分析欄

将来負担額については、一般会計等地方債現在高をはじめとして 前年度に比して減少している。

また、積み立てによる財政調整基金の増と基準財政需要額参入見 込額の減により、充当可能財源も微減となっており、結果として、将 来負担比率の分子は減少している。

[※]平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11)市町村公会計指標分析/財政指標組合せ分析表

平成27年度

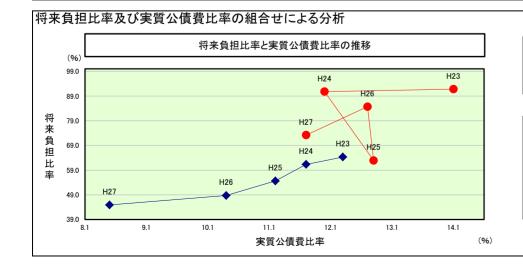
石川県中能登町

18. 717 人(H28.1.1現在) うち日本人 18, 535 人(H28.1.1現在) 連結実質赤字比率 % 89. 45 km² 11.7 % 実 質 公 債 費 比 率 入総 11, 197, 193 千円 将来負担比率 73.2 % 出 11, 015, 039 千円 型 H23 IV-2 H24 IV-2 H25 IV-2 37, 464 千円 度 毎) H26 IV-2 H27 IV-1 7, 110, 610 千円 15, 699, 389 千円

当該団体値類似団体内平均値

- ※ 有形固定資産減価償却率は平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、債務償還可能年数は平成28年10月1日時点で統一的な基準による財務書類を作成済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

有形固定資産減価償却率 債務償還可能年数 類似団体内順位 全国平均 石川県平均 全国平均 石川県平均 *55.6* 有形固定資産減価償却率 債務償還可能年数 [-] 有形固定資産減価償却率の分析欄 債務償還可能年数の分析欄 ここに入力 ここに入力 固定資産台帳整備中・未整備 財務書類作成中・未作成



分析欄 当町においては合併特例債を財源として基金を造成しているため、類似団体内平均値と比較して、特に実質公債費比率が高くなっている。 また、学校統廃合などの事業実施により将来負担比率及び実質公債費比率のいずれも増加する年度があったものの、据え置き無しでの地方債償還及び繰上償還を併せて実施しているため、 いずれも平成23年度に比して減少基調にある。

(参考)						
	H23	H24	H25	H26	H27	
当該団体値	将来負担比率	91.8	90.8	62.9	84.7	73.2
	実質公債費比率	14.1	12.0	12.8	12.7	11.7
類似団体内平均値	将来負担比率	64.3	61.3	54.6	48.7	44.9
規拟凹座內土均順	実質公債費比率	12.3	11.7	11.2	10.4	8.5

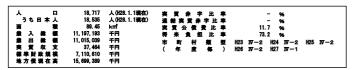


- ※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中•未整備

BDX1月間の27旬1個

ここに入力



- ※ 平成28年10月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中•未整備

施設情報の分析欄

ここに入力